

〔応募事業名〕

中山間地域におけるICT利活用によるフレイル・オーラルフレイル予防
のためのベストプラクティス確立・普及に関する調査研究



補足資料

〔事業総括〕

徳島大学大学院医歯薬学研究部
口腔科学部門口腔保健学系
口腔保健支援学分野
尾崎 和美

過疎・中山間地域の現状／“口腔・食(栄養)”視点での課題

	牟岐町	木屋平	那賀町
総面積 (km ²)	56.62	100.97	694.98
可住地面積割合 (%)	13.3	5.0	4.9
可住地面積 (km ²)	7.53	5.05	34.05
総人口 (人)	4,259	639	8,402
高齢化率 (%)	48.0	58.5	46.6
管轄市町村	海部郡	美馬市	那賀町
過疎地域自立促進特別措置法 [総務省]指定	いずれも“過疎地域”		
市町村総面積 (km ²)	525.07	367.14	694.98
市町村可住地面積 (km ²)	51.97	75.07	34.05
“平成の合併”	2006年 1)2町村 ⇒ 美波町 2)2町村 ⇒ 海陽町 ・牟岐町 ⇒ 統廃合無	2005年 4町村 ⇒ 美馬市	2005年 5町村 ⇒ 那賀郡那賀町
社協 / 地域包括支援センター	3/3 施設	1/1施設	1/1 施設



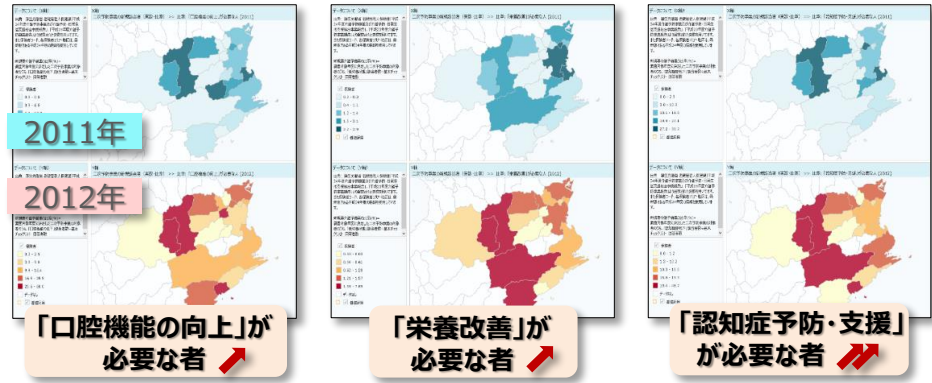
【現状①】

- ・高齢化率の上昇
- ・独居世帯の半数以上が高齢者
- ・集落の散在
- ・若年人口の減少
- ・社協統廃合など“平成の合併”による人員配置変更の影響

【課題①】

- ・外出頻度/社会参加の減少など社会活動性の低下
- ・保健/医療/福祉サービスの確保など社会資源調達/連携の不利性

【現状②】「口腔機能向上必要」「栄養改善必要」「認知症予防・支援必要」な者の経年増加



※二次予防事業等の新規該当者の各年比率
引用/改編) 介護予防アトラス (<http://www.doctoral.co.jp/WebAtlas/201112WebAtlas/top.html>) より
JAGES (日本老年学的評価研究) Project 調査結果の一部を抽出

【課題②】心身機能低下という視点に加え“口腔・食(栄養)”の視点からの支援が必要な者の経年増加

オーラルフレイル/フレイル予防の実現に向けての課題解決方法/事業目的

住民も含め、地域ぐるみでの“口腔/栄養”目線の定着が必要

“意識”の共有

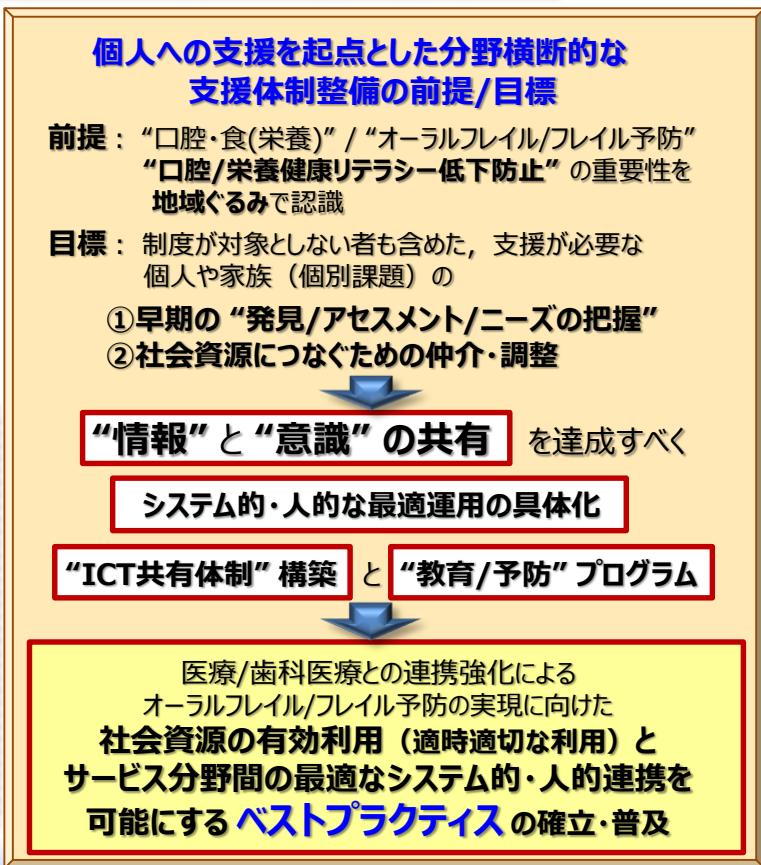
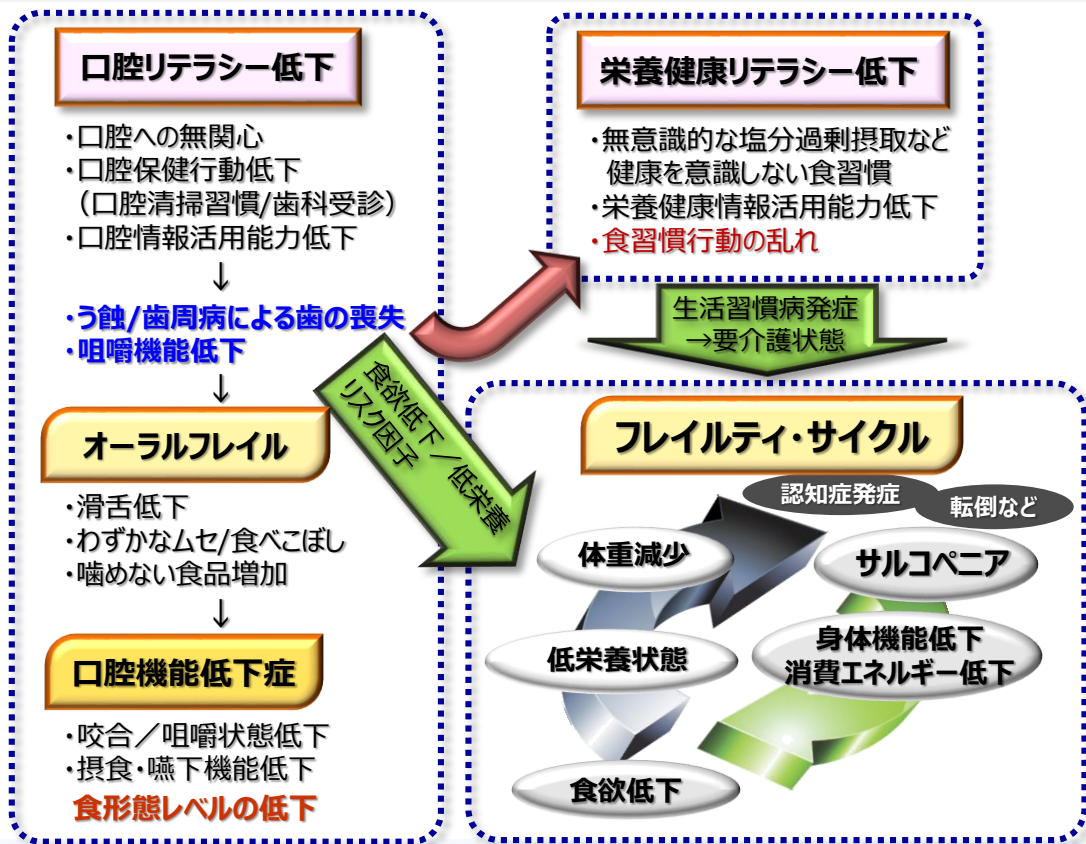
住民：エンパワメント（潜在能力引き出し）のための教育/予防プログラム
⇒ 口腔/栄養健康リテラシーの低下予防/向上

職員：人材育成に向けた意識醸成のための教育プログラム
⇒ 口腔/栄養健康リテラシーの向上/ICTリテラシーの向上



(ICTによる) “情報”の共有

- ・咀嚼機能低下への早期対応の重要性認識と歯科専門職との早期かつ確実な連携（社会資源の適時適切な利用）
- ・栄養摂取状況（喫食量や食形態）の評価（アセスメント）と多職種連携による協議/ケア支援提供



事業概要〔事業行程/担当〕

阿波の中(仲)を紡(つむ)ぐ
〔徳島の中で医療・介護連携を推進する〕
“阿波なかつむぎ Project”

(ICTによる)
“情報”の共有 → “ICT共有体制”構築

- ① 新規開発：“AWA-i-コンサルSNS”（時系列コンテンツ表示プログラム）
- ② 既存医療連携ネットワーク（阿波あいネット）との連携

“意識”の共有 → “教育/予防”プログラム

- ① 住民：口腔/栄養健康リテラシー向上のための **講演会**，**健口体操プログラム**の実施 … **効果検証**
- ② 職員：人材育成に向けた意識醸成のための **口腔ケア研修会**等

H30年 9~12月
ICT共有体制構築

白山・濱田邦・影治・藤原真
加藤・市川・濱田康・尾崎

- ・AWA-i-コンサルSNSの開発
- ⇒ 既存システムへのバンドルと他施設への整備
- ⇒ 有効活用に向けた体制（人的運用）の整備

H30年 8月
システム導入前の
ヒアリング調査

介護支援専門員等 柳沢・調査員

- ・新規ICT機能の仕様策定の根拠情報
- ・地域ケア会議の運用 …を把握するための調査

H30年 9月~H31年 2月
健口体操プログラム 地域住民 竹内・藤原奈・学生

- ・健口体操プログラムの実施（意識啓発）
- ・対象者の状況調査（生活/口腔機能/栄養状態）
- ・筋力運動（いきいき百歳体操〔徳島県版〕）の効果との相乗性など効果検証

H30年 9~10月
口腔ケア研修会 介護支援専門員等 藤原奈・学生

口腔ケア関連スキルのボトムアップのための研修会
… 対面形式の講義および相互実習
※採取ブランクの培養状態/臭気の確認など

H30年 9月/H31年 1月
講演会 全対象者（職員・地域住民） 全事業担当者

- … “口腔”目線を取り入れた地域ケア会議の運用構築に向けた研修講義（H30年9月/招聘講演/職員）
- … 医学/歯学/栄養学の各専門的立場から全身と口腔および口腔と食（栄養）の関連性や重要性の啓発・普及に資する対面講義（H31年1月/フォーラム形式/地域住民・職員）



多分野の
コンサル情報

- ・問診/調査事項（テキスト情報）のテンプレート化
⇒ 選択回答による簡易入力/データ整合性向上
- ・写真や音声（嚥下音）データ添付
⇒ 分野別登録フォームの整備
⇒ 歯科/医科専門各科の“ささいな異常”の医療職への正確/迅速な伝達が可能

受診勧奨対象者の迅速な捕捉と
情報伝達/共有

- ⇒ 評価指標の入力継続性の勘案
- ⇒ 医療/歯科医療との連携強化

写真撮影による
“異常”の正確な伝達

嚥下音録音による
嚥下状態の記録/解析

H31年 1月
システム導入後の
ヒアリング調査

介護支援専門員等 柳沢・調査員

- ・仕様改善，追加要望など導入後の評価情報収集
- ・新規ICT機能で扱う評価指標の現場業務（地域ケア会議や住民への対応など）での利用可能性および有用性

【事業終了後～】
確立したベストプラクティスの継続的な
ブラッシュアップと，構築した“ICT共有体制”の
さらなる他地域への普及
⇒ 全局的な支援体制の確立と理想的な
包括ケアシステムの構築・推進